

柏清風	11人
公明党	8人
新政	5人
日本共産党	4人
護憲市民会議	3人
政和会	2人
市民サイド	2人
無所属	2人
定数40名 現員37名	
平成22年12月1日現在	

2011
(平成23年)
1月1日(土)
No.185
新年号

かしわ 市議会だより

発行：柏市議会 編集：議会広報委員会 〒277-8505 千葉県柏市柏5-10-1 議会事務局 ☎ 04-7167-1451 FAX 04-7167-0698



浦安の舞 (増尾 廣幡八幡宮)



柏市議会議長
やま だ かずひと
山田 一



柏市議会副議長
やまうち ひろいち
山内 弘一

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は国政において政権交代後、初の国政選挙が行われるなど、地方自治体を取り巻く状況も大きく変化してきております。

そのような中、少子高齢化の進展や景気低迷による雇用・経済の悪化など、社会情勢は依然として厳しい状況にあります。

本市におきましても、市税収入の増加は見込めず、厳しい財政状況が続く、地域経済の活性化や雇用対策、福祉施策の充実など取り組むべき課題が山積しています。このようなきこそ、独自の創意と工夫のもと、自治体経営の進路を決めていかなければなりません。

皆様から直接選挙により選ばれ、市長とともに市政の「かじ取り」の一翼を担う柏市議会としましては、市政に対するチェック機能を十分に発揮し、市民の暮らしを反映した市政の実現に引き続き努めていく所存であります。

ぜひとも柏市議会に、皆様の声をお寄せください。いただいたご意見を参考に、議会改革の取り組みを進めてまいります。

市民の皆様には、今後ともより一層のご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

山	佐	日	山	宮	小	本	小	戸	成	山	山	上	佐	田	林	末	松	市	古	中	高	橋	中	宮	渡	平	小	石	助	永	芳	小	塚	村	武	日																													
中	藤	暮	田	崎	泉	池	林	辺	島	田	内	橋	藤	中	永	本	村	川	沢	城	口	島	田	部	野	井	川	井	川	野	賀	松	本	田	藤	下																													
勝	一	次	栄	保	浩	文	美	敏	一	弘	尚	伸	康	寛	隆	裕	早	幸	清	和	光	晃	昭	忠	正	幸	太	章	津	や	男	郎	治	夫	子	枝	枝	実	孝	一	一	泉	文	晋	司	文	道	衛	史	隆	苗	生	俊	子	子	一	治	一	弘	晶	子	郎	吾	江	子

議席番号順

委員会行政視察報告

平成22年中に、総務、市民環境、教育民生、建設経済の4常任委員会及び議会運営委員会が、所管事務にあわせて、本市の抱えている課題を把握し解決等に役立てるため、先進地の行政視察を実施いたしました。(※正・副委員長は9月選出)

総務委員会

【視察日】平成22年4月20日～22日



委員長 中沢 裕隆



副委員長 塚本竜太郎

【視察地・視察項目】

- ◎宮崎市(宮崎県) コールセンター事業
- ◎筑後市(福岡県) 滞納整理強化への取り組み
- ◎北九州市(福岡県) 緊急通報システム(あんしんライン119)

【概要・所感】

宮崎市コールセンターの主目的は、たらい回しの回避による市民サービスの向上と



事務の効率化であり、どちらにも効果があった。利用者の95%がサービスに満足とのことである。筑後市では積極的な滞納整理強化を行い、全国平均以下の収納率を平均近くまで向上させた。北九州市のあんしんライン119は、ガス・煙・熱センサーなどにより異常を感知すると、直接消防指令センターに緊急通報が行われるシステムであった。

市民環境委員会

【視察日】平成22年5月11日～13日



委員長 末永 康文



副委員長 村田 章吾

【視察地・視察項目】

- ◎水俣市(熊本県) 環境モデルまちづくり
- ◎玉名市(熊本県) 玉名21の星事業一区一輝運動
- ◎福岡市(福岡県) 環境市民ファンド

【概要・所感】

水俣市は水俣病の経験と教訓を生かし「環境モデル都市づくり宣言」を行い、温室効果ガス削減など地球温暖化問



題に先導的に取り組んでいた。玉名市の一区一輝運動は、小学校区での資源や特性を生かした住民主体の地域づくり、防犯、防災等全市に定着した事業となっていた。福岡市での「環境市民ファンド」は、ごみの有料化によって生まれた財源の一部を活用し、ボランティア団体等の環境活動への支援として、補助金を支給し運用していた。

議員選出監査委員

平成22年第3回定例会初日の9月3日に、田中晋氏、佐藤尚文氏を議員選出の監査委員に選任しました。



田中 晋



佐藤 尚文

現在、市の財政に関する事務の執行及び市の経営に係る事業について、地方自治法、地方公営企業法及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、監査、検査及び審査を実施しております。

教育民生委員会

【視察日】平成22年5月11日～13日



委員長 林 伸司



副委員長 永野 正敏

【視察地・視察項目】

- ◎池田市(大阪府) 安全で安心な学校づくり(池田小学校)
- ◎清須市(愛知県) 子育て家庭優待事業
- ◎岡崎市(愛知県) がん検診受診率向上プロジェクト(岡崎げんき館)

【概要・所感】

大阪教育大学附属池田小学校では、平成13年の事件を機



に警備員の配置や学校のあらゆる場所に警報ブザーを設置するなど、安全で安心な学校づくりを目指していた。清須市では愛知県と県内の協賛店舗が子育て家庭を優遇する事業を展開していた。岡崎市では、東京海上日動火災保険株式会社、地元金融機関と協力し、がん検診受診率を5年間で50%以上とする目標に取り組んでいた。

建設経済委員会

【視察日】平成22年4月21日～23日



委員長 宮崎 浩子



副委員長 松本 寛道

【視察地・視察項目】

- ◎高松市(香川県) サンポート高松
- ◎岡山市(岡山県) 中央卸売市場
- ◎京都市(京都府) 「歩くまち・京都」総合交通戦略

【概要・所感】

高松市は道州制導入も視野に入れた新しい都心の核づくりとして、港湾・埋立・区画



整理事業の手法を使い、交通機能の強化や中心市街地の整備を進めていた。岡山市では中央卸売市場の改善について視察をした。特ににぎわいを取り戻す策として催し物の開催や一般市民向け店舗の設置を行うなど、開かれた市場をPRしていた。京都市は環境モデル都市として、車の抑制やCO₂削減に重点を置いた交通施策に取り組んでいた。

議会運営委員会

【視察日】平成22年7月29日～30日



委員長 山中 一男



副委員長 宮崎 浩子

【現地・視察項目】

- ◎大阪府 議会改革並びにプロジェクト1等を使用した議事運営
- ◎鈴鹿市(三重県) 議会改革並びに書画カメラ等を使用した議事運営

【概要・所感】

大阪府では、平成17年から議会の質問に一問一答方式を導入し、議会基本条例を制定するなど議会改革に取り組む



とともに、プロジェクトを使用した議会運営を行っていた。鈴鹿市でも、議会基本条例特別委員会を設置し、議会基本条例の調査研究などに取り組んでいた。また、書画カメラを使用した議会運営も行っていた。本市でも、12月議会からプロジェクトや書画カメラを使用した議会運営を始めたが、両自治体を参考に、充実させていきたい。

平成22年議会日誌

1月	14 議会報編集委員会	21 下総基地特別委員会
2月	26 教育民生委員会	21 教育民生委員会
3月	3 千葉県市議会議長会第4フ	建設経済委員会(会議 現)
4月	9 総務委員会(行政視察)	23 議会報編集委員会
5月	12 下総基地特別委員会(北関	23 議会報編集委員会
6月	17 各派代表者会議	23 議会報編集委員会
7月	17 各派代表者会議	23 議会報編集委員会
8月	26 各派代表者会議	23 議会報編集委員会
9月	26 各派代表者会議	23 議会報編集委員会
10月	26 各派代表者会議	23 議会報編集委員会
11月	26 各派代表者会議	23 議会報編集委員会
12月	26 各派代表者会議	23 議会報編集委員会

- 議会広報委員会**
- 委員長 古川 隆史
- 副委員長 日下みや子
- 委員 小松 幸子 佐藤勝次郎
- 小林 敏枝 助川 忠弘
- 高城 早苗 塚本竜太郎
- 宮田 清子

- 11/26 12/15 第4回定例会
- 10/10 総務、市民環境委員会
- 9/9 教育民生、建設経済委員会
- 10/13 議会運営委員会
- 11/15 議会報編集委員会
- 12/15 議会報編集委員会
- 1/15 議会報編集委員会
- 2/15 議会報編集委員会
- 3/15 議会報編集委員会
- 4/15 議会報編集委員会
- 5/15 議会報編集委員会
- 6/15 議会報編集委員会
- 7/15 議会報編集委員会
- 8/15 議会報編集委員会
- 9/15 議会報編集委員会
- 10/15 議会報編集委員会
- 11/15 議会報編集委員会
- 12/15 議会報編集委員会

議会だよりに関する皆様のご意見をお寄せください。